

学校法人 東京聖徳学園

聖徳FLASH

第130号

令和6年2月1日

発行 学校法人 東京聖徳学園 千108-0073 東京都港区三田3-4-28 TEL.03-5476-8811(代)



聖徳学園ホームページ https://www.seitoku-u.ac.jp/gakuen/

- 聖徳大学大学院
- 聖徳大学附属小学校
- 聖徳大学教職大学院
- 聖徳大学附属幼稚園
- 聖徳大学
- 聖徳大学附属第二幼稚園
- 聖徳大学短期大学部
- 聖徳大学附属成田幼稚園
- 聖徳大学幼児教育専門学校
- 聖徳大学附属浦安幼稚園
- 光英VERITAS高等学校
- 聖徳大学三田幼稚園
- 聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校
- 聖徳大学八王子幼稚園
- 光英VERITAS中学校
- 聖徳大学多摩幼稚園

聖徳FLASH



十一月十八日(土)・十九日(日)の両日、第五十九回聖徳祭を開催しました。四年ぶりに来場者の制限がない学園祭が復活となり、二日間でのべ一万八百八十八名が来場しました。

今回は目玉企画として学内で仕事体験ができる「ユニザニア」を企画しました。各学科やコース、クラブ・同好会の特長を生かした企

完全対面にて開催！二日間で約二万人が来場 第五十九回 聖徳祭

アオハル



INDEX

▼学園	2	5	8
▼大学院・大学短大	1	2	3
▼幼児教育専門学校	5	8	
▼光英VERITAS中・高	5	8	
▼取手聖徳女子高	6	8	
▼小学校	6	8	
▼幼稚園	6	8	
▼インフォメーション	6	7	8

多くの子どもたちが体験を楽しみ、保護者からも大変好評でした。PACHI PACHIプラザでは「WalkWalk広場」として各クラスの縁日企画を集約するとともに、もう一つの目玉企画である「世界のあそび博」を実施しました。アメリカのホットポテトゲーム、イタリアのモラじゃんけん、韓国・中国の投壺など、遊びを通じて異文化を体験し、お祭り気分を楽しめる企画でした。



ユニザニアの企画アナウンサー体験

面内で九つの仕事体験ができ、仕事体験後は専用通貨「リン」がもらえ、景品と引き換えができるシステムになっています。社会福祉学科の養護教諭体験、文学科のCA体験、アテレコ研究部のラジオパーソナリティ体験など工夫を凝らした仕事体験ができる内容でした。用意をした「リン」が足りなくなるコーナーがあるほ



やさいを使ったスタンプ遊び

聖徳祭の開催に向け、学友会では二月の合宿から準備を開始し、検討を重ねてきました。他大学の学園祭に足を運び、本学でも取り入れることができることは積極的に取り入れ、学友会役員一人ひとりが創意工夫をした結果、パンフレットは斬新かつ親しみやすいデザイン・内容に一新され、新たな企画が誕生していきま

短期大学部・総合文化学科 「ガレット・デ・ロワコンテスト」にて 二位・三位に入賞

十一月十六日(木)に行われた第二十一回ガレット・デ・ロワコンテストのエスポワール部門(学生および菓子愛好家部門)において、総合文化学科の学生二名がそれぞれ二位・三位に入賞し、一月十日(水)に表彰式が東京都港区にあるフランス大使公邸で行われました。



フランス駐日大使と記念撮影

合文化学科の学生二名も壇上上がり表彰を受けました。その後、大使へ巨大なガレット・デ・ロワが献上され、参加者全員でガレット・デ・ロワをいただき交流を深めました。学生二名も来賓や会員のシェフから激励の言葉をいただき、とてもよい経験になりました。



コンテストに出展したガレット・デ・ロワ

聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校・吹奏楽部 全国ポピュラーズブラス吹奏楽コンクール 全国大会・優勝

全国大会・優勝

十二月二十三日(土)に横須賀芸術劇場で開催された「第八回全国ポピュラーズブラス吹奏楽コンクール」(日本吹奏楽普及協会主催)において、東海大菅生高校などの強豪校をおさえ、本校吹奏楽部が初めて優勝に輝き、生徒たちの日頃の地道な努力の成果が大きく花開いた年となりました。

同部は「今年度のメンバー全員で参加するコンクールは今回が最後。これまで様々な大会に出場してきた中で、目標を持ち、周りの部員と毎日練習を重ねることができたのは、日頃から見守り、応援してくださる方々の存在があったからこそ。今後感謝の気持ちを演奏という形で表すことができるよう、日々の練習に取り組んでまいります。」とコメント。



十一月の大会での演奏はQRコードからご覧いただけます。



第五十四回 千葉県私学教育功労者表彰

第五十四回千葉県私学教育功労者表彰式典が十二月二日(土)、アパホテル&リゾート東京ベイ幕張(千葉市)にて行われ、本学園から八名の先生が表彰されました。

〈千葉県私学教育振興財団表彰〉

聖徳大学大学院 教職研究科 教授 藪中 征代



聖徳大学 文学部文学科 教授 桑原 規子



聖徳大学大学院 音楽文化研究科長 教授 高橋 大海



聖徳大学短期大学部 保育科 教授 中野 真紀子



光英VERITAS 中学校・高等学校 副校長 教諭 大野 正文



光英VERITAS 中学校・高等学校 教諭 北堀 洋



光英VERITAS 中学校・高等学校 教諭 櫻井 隆裕



聖徳大学附属小学校 教諭 檜貝 道郎



(表彰順)

音楽学部・大学院音楽文化研究科 第二十五回 定期演奏会を 開催

十二月二日(土)、年末恒例となった音楽学部・音楽文化研究科の定期演奏会も二十五回の節目を迎え、川並香順記念講堂にて華やかに開催いたしました。一般公開となった事で多くのお客様が来場し、活気に満ちた演奏会となりました。



第一部の開幕はコンピュータによるDTMの「音」だけでなく、アニメーション投影やラップ風のヴォーカルユニットで聴かせるなど、趣向を凝らした発表で会場を大いに沸かせました。続くミュージカルステージでは、ミュージカル曲を独唱・二重唱で歌いました。二人の美しい歌声と豪華な衣装で魅力的なステージが展開されました。続いての電子オルガン独奏ではドラマチックな構成の自作曲を楽器の持つ多彩な音色を駆使し、感動的な演奏で会場を包み込みました。続くパイプオルガン独奏では趙三川さん(大学院後期課程二年)が安定した演奏技術を活かし、講堂の象徴であるパイプオルガンの荘厳な響きの中、第一部を終えました。

第二部の幕開けはコントラバスの独奏とクラリネットの独奏で始まり、再びステージが盛り上がり、再び続く声楽ステージでは四人の大学院生と男性教員による歌曲の共演です。最初にモーツァルトの歌曲を二重唱で披露しました。美しく広がりのある歌声と特徴的な演技でオペラの世界へと勧誘します。続く四重唱では、プッチーニの歌曲をオペラの一場面を彷彿させるような見事な歌と演技で華やかなステージを演出しました。演奏会最後のコーナーはピアノステージです。四人の大学生による独奏と二台ピアノ形式での演奏です。ラフマニノフの「前奏曲」シヨパンの「ノクターン」、ムソルグスキーの「展覧会の絵」が演奏されました。演奏会の最後を飾ったのは、川村綾音さん(音楽学部音楽学科プロアーティストメジャー三年)と共演の森島英子教授によるシヨスタコーヴィチの「ピアノ協奏曲第二番」です。二台のピアノが時には華麗に、時には荘厳に、力強く情熱的なピアノがラストを飾りました。

「聖徳大学長賞」受賞校

福島県立 磐城桜が丘高等学校
高レベル放射性廃棄物の最終処分について

茨城県立 真壁高等学校
GLOBAL G.A.P 認証取得から見えた農業の未来

聖徳大学 附属取手聖徳女子高等学校
全国的に増え続けている空き家を解決する為には?

「第八回 高校生の 体験発表会」を開催

高校生が行っているボランティア等の地域貢献活動、授業・部活動等の教育活動、起業経験や国際交流などについて、多様な学科やコースの枠を超えて発表することにより、高校生同士の理解や啓発に寄与し、高校生自身の学びのさらなる深化と一層の広がりにつなげる

聖徳大学グループの公式Instagramをはじめました!

聖徳大学グループの情報を皆さまへお届けいたします。ぜひ、フォローをお願いいたします。

公式 Instagram 聖徳大学グループ [公式] @seitokudaigaku_group

公式 X (旧 Twitter) 聖徳大学・聖徳大学短期大学部 [公式] @seitoku_gakuen

公式 Facebook 聖徳大学・聖徳大学短期大学部 @seitoku.university



フォロー、ページへのいいね!お願いします!

メディアホールにて開催し、二十一校より二十三団体の高等学校、特別支援学校の生徒、および引率の先生方が来校しました。「オンライン発表型」は十二月十六日(土)にZoomの限定公開で配信し、初参加となる福島県の高専学校を含めた十校より十団体が参加しました。両日ともに、委員会活動や部活動、国際交流、研究活動等の高校生の多様な体験やそれらを通して得られ

た探究的な学びに関する発表が繰り広げられました。高校生の発表を通じて発表の内容のみならず、コロナ禍以前よりも活発に多様な学びを続ける高校生の姿から私たちも多くのことを学びました。最も優れた発表に贈られる聖徳大学長賞は三校が受賞いたしました。また、優秀な発表に対して、千葉県高等学校校長協会会長賞、松戸商工会議所会頭賞等を授与いたしました。

聖徳大学短期大学部総合文化学科だより

令和五年度「地域貢献活動の実践」

報告会を開催

短期大学部総合文化学科では、一年生が春学期から継続して取り組んできた活動の成果を発表するための「地域貢献活動の実践」報告会を十二月十五日(金)に開催しました。当日は松戸市役所、UR都市機構、岩瀬自治会、株式会社松戸活性舎の方がお越しください、各グループに講評をいただきました。

活動テーマは三つあり、それぞれの概要は以下の通りです。

【岩瀬自治会との交流】

多くの行事に参加して、主に子ども向けの遊びコーナーを企画、運営しました。

【製菓・フードの名品づくり】

松戸の名産品である、枝豆・ネギ・梨・宇宙かぼちゃの四グループに分かれてレシピを開発しました。聖徳祭でも宇宙かぼちゃのパウ

親子で安全に楽しんでもらうことを考えて、型抜きや輪投げなど色々なコーナーを設置し、多くの方々とお話することができました。

【UR常盤平団地古本まつり】

十月に古本まつりを開催しました。本から名言を抜き出してポップで紹介したり、手作りのお土産を差し上げたりして地域の皆様に喜んでいただくことができました。



ンドケーキを販売し、合計百八十三個が完売しました。地域の皆様からは、「学生の皆さんのアイデアや取り組みにとても感銘を受けた」との感想がありました。報告会を通じて、改めて地域連携の意義を考える機会となりました。

短期大学部・保育科

附属幼稚園の「児童文化化学習成果発表会」を開催

十二月二十三日(土)、短大保育科二年生による「児童文化I・II・III学習成果発表会」を開催しました。学生はグループに分かれ、人形劇、折り紙、表現遊びの授業で身につけた表現技法を基に、自由な発想で新たな表現を創意工夫しての発表です。発表会は本学のキャンパス内にある聖徳大学附属幼稚園の遊戯室で行われ、幼稚園の子どもたちも一緒に楽しみました。



人形劇では自分たちの手作り人形を使って上演しました。子どもたちがワクワクするようなストーリーを考えるのも楽しい時間でした。

た。折り紙では、その技法を応用して作った衣裳や小道具などを使い、音楽に合わせて踊ったりお芝居をしたりしながら表現しました。表現遊びでは衣裳も工夫し、



グループによってはストーリー仕立てにしているところや、まるで小劇場のお芝居仕立てのグループがあり、様々な表現を楽しんでいました。

語学教育センターだより

英語でミニクリスマス

コンサートを開催

十二月二十二日(金)、語学教育センターは、ミニクリスマスコンサートを開催しました。センターに英語の勉強に来ていた音楽学部一年の松山愛さんに、彼女のサクソフォン演奏をぜひ聞きたいという学生や教員からのリクエストがあり、音楽学部鳥井俊之教授の協力により、二人の素晴らしい共演が実現しました。コンサート当日は、松山さんが英語で司会を務め、また、磯崎渚砂さんのカホン演奏も加わり、感動的なひと時となりました。



右から松山愛さん、鳥井俊之教授

ESS (English Speaking Society) のメンバーも、事前に英語のクリスマスソングを一所懸命に練習したかいもあり、すべてのクリスマスソングを見事に歌いこなしました。そのほか、タンバリンや鈴でコンサートが盛り上がり、さまざまな学部の学生や教員も、一緒に英語でクリスマスソングを歌いました。最後に、松山さんと鳥井教授から特別プレゼントとして誰もが好きな人気ソングが披露され、ミニコンサートのハイライトとなりました。会場に響き渡る素晴らしい演奏は、廊下を通りがかった人たちの心までも温かくしたと思います。来年は、より大きな場所でも多くの学生や教職員が楽しめるようなイベントに発展させられたらと期待しています。

大学・教育学部児童学科

足もとの自然から始めよう

自然体験教室を開催

十二月九日(土)、「大学探検! 聖徳の自然でネイチャーゲームを楽しもう」を開催しました(主催: 生涯学習研究所、児童学科有川ゼミ)。このイベントは、子どもたちと、将来保育者・教員になる学生双方の自然体験不足に着目して行っただけのものではない、八歳までの子どもたちが、元気に聖徳大学の自然で遊びました。活動の前半は、キャンパス駐車場横の森で、ネイチャー



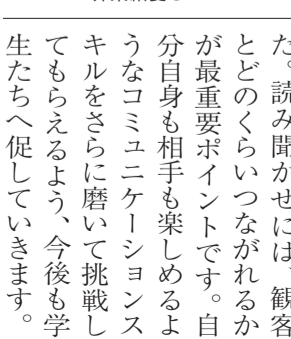
ゲームを行いました。その後半は、自然物を使ったクリスマス飾り作りです。学生からは「仲間と企画したこと、自然を用いた活動に自信が付きました」「ゼミの先輩、同級生の子ども・保護者への接し方が勉強になりました」との声がありました。また、保護者からは「子どもが寝る直前まで、楽しかったと話してくれました」との声をいただきました。今後も、地域と連携した学びを展開していきます。

英語読み聞かせコンテスト

十一月十九日(土) 聖徳祭一日目に語学教育センター主催で「英語の絵本読み聞かせコンテスト」を行いました。「英語に自信はないけれどチャレンジしてみたい」「英語を話すのが好きで参加は二回目」など、動機も所属学部も異なる十三名がそれぞれ個性を發揮して挑戦しました。

今年、文学部文学科英語・英文学コース三年の井東結愛さんと、同コース二年生の大平紅杏さんの二人

が審査員のスコアが全く同点となって優勝となりました。乙つけがたく接戦でしたが、観客者数も過去最高で、多くの方々に楽しんでいただき、大変励みとなりました。読み聞かせには、観客とどのくらいつながれるかが最重要ポイントです。自分自身も相手も楽しめるようなコミュニケーションスキルをさらに磨いて挑戦してもらえよう、今後も学生たちへ促していきます。



井東結愛さん



大平紅杏さん



令和五年度

「八潮子ども夢大学」を開催

十二月二日(土)、本学において「令和五年度 八潮子ども夢大学」を開催いたしました。

「八潮子ども夢大学」は、本学と埼玉県八潮市とが連携協力して平成二十六年から開催している行事で、市内の小中学生の知的好奇心をかき立て、大学進学への意識を高めながら、学ぶ意欲や探究心の向上を図ることを目的としています。

当日は、八潮市内の小学五年生から中学一年生までの十二名と保護者三名の計十五名が本学を訪れ、教育学部児童学科「遊びで防災体験」と心理・福祉学部社会福祉学科「車いすの介助方法を知らう」の模擬授業を受けました。



授業を担当した教員との記念写真

「遊びで防災体験」では担当講師の教授が、実際に災害地でボランティア活動をした際の体験談を交えながら、防災に関するクイズや防災学習カードを使い授業を行いました。「車いすの介助方法を知らう」では参加した子どもたちがペアとなり、車いすに乗る側と介助する側となり、学内にあるエレベーターやスロープ、絨毯の上を走り、車いすに乗っている人と押している人では目線や距離感が違うことが体験できる授業を行いました。

模擬授業の後は、学生食堂体験を行いました。自分たちでメニューを選び購入すると、食堂やテラスなど思い思いの場所で昼食を食べました。

小学校・中学校では体験できない授業を本学で受け一人ひとりが新しい発見や挑戦をすることができた一日となりました。

聖徳大学児童学研究所講演会

アジア・アフリカの児童と危機管理活動

SDGsのすべての課題を有する国々で

十二月九日(土)、児童学研究所在主催講演会(対面・オンライン併用)を開催しました。学内外から約四十名の参加がありました。

講師は、海外支援のNGO活動に邁進されている、東アフリカ国際大学教授の北川慶子氏(本学大学院兼任教員)です。



北川慶子先生

北川氏は、ベトナム戦争の枯葉剤の被害にあった家

マンホールに住み込んで「マンホールチルドレン」の対応など、多くの貴重な資料を使い話されました。また、タイトルにあるように、SDGsの課題が突き付けられる講演でした。例えば、ウガンダの農村部では八割の人が野外排泄をするため、飲用水も汚染され、感染症が蔓延する、これが目標六「安全な水とトイレを世界中に」に繋がるといったことです。最近ではさらに温暖化の影響で洪水も増え、汚物始末の労働に子どもが駆り出される「清潔なトイレ」があたり前と思われている先進国に何の支援ができるのでしょうか。貧困が貧困を生む負の連鎖を断ち切るには、現地の教員養成への支援をと北川氏は熱く語られました。

聖徳大学海外研修報告

本学では、建学の精神「和」に基づく人間教育の一環として、海外研修を行っています。グローバル化する社会でも対応できる人間性や協調性を高めることを目的とし、各学科またはコースごとに異なるプログラムを実施しています。今回は、看護学部看護学科の研修を紹介します。

看護学部看護学科四年イギリス研修旅行

看護学科の海外研修は、二年次二月にハワイ大学で実施しています。しかし、現四年生はコロナ禍で研修は延期になり、三年次二月には実習期間中のため実現しませんでした。この学年は入学式や学外研修の行事が中止となり、授業はオンラインが主であり、実習も病院で十分にできなかった

学年でした。せめて最後に海外研修を実現できないかと模索したのが今回の英国研修でした。卒業年次であることを考え、近代看護の祖であるF・ナイチンゲールの活躍した場を中心に企画し、実現しました。



十月十一日(水)、深夜に羽田国際空港を出発し、ロンドン・ヒースロー空港に着いたのは早朝でした。そこから国内便に乗り継ぎグラスゴーへ。その日はエジンバラ城を見学し、ホテルへ直行しました。翌日は、Glasgow Caledonian University(GCU)の一日研修でした。GCUでは英国やスコットランドの医療事情の講義やシミュレーション教育の実際等を見学し、看護学部の学生たちとの交流もあり、充実した研修となりました。学生たちは自分たちとの学び方の違いについて考えることが多かったようです。三日目はロンドンへ戻り、ウインザー城を見学し、その広大さと美しさに感動していました。四日目は、F・ナイチンゲール博物館を見学し、隣接するセント・トーマス病院を外から眺め周辺を散策しました。ここは、F・ナイチンゲールが初めて看護学校を併設した病院です。テムズ川沿いの病院の横に設置された白い壁には新型コロナウイルスのため亡くなった人を追悼する壁全体を覆いつくすほどに名前が記されたハートが描かれ、慰霊の場所になっていました。最後の日は、ハンプシャー州のF・ナ



ナイチンゲール博物館にて撮影

退し、故郷の小さなセント・マーガレット教会の墓地に埋葬を希望したF・ナイチンゲールの気高さに思いを馳せ、教会では全員が記帳をしまし、F・ナイチンゲールが歩いたであろう小路を散策することができました。この研修が二五〇年以上前に掲げたナイチンゲールの思想に思いを馳せ、来年四月以降に看護の道を歩む者としての誇りと目標を持つ所となる研修となりました。

令和五年度

全学SD研修会を実施

十二月八日(金)、教育改革をテーマとして全学SD研修会を実施しました。今回は「聖徳教育」及び「Field Linkage®」「Business Field Linkage®」について、その共通理解の促進を目的とした内容でした。



増井三夫副学長

はじめに、野原八千代学長補佐(学生担当)から「聖徳教育の現状と今後の課題(改革)」と題して、聖徳教育の概要と今後の課題、特に聖徳教育Ⅲは、学士力との関係や今年度から来年度にかけての改編の概要についての報告がありました。



野原八千代学長補佐(学生担当)

続いて、増井三夫副学長から「Field Linkage®」の現状と今後の方向性「Business Field Linkage®」の現状と今後の方向性」と題して、「Field Linkage®」「Business Field Linkage®」の取組の背景やその概要、さらに今後の方向性についての報告がありました。それぞれ本学で取り組んでいる教育改革について再確認することができたことで、大変有意義な研修会となりました。

取手聖徳女子高等学校

九州修学旅行

二年生五十八名は十一月七日(火)から十一日(土)まで西九州へ修学旅行に行きました。期間中は多少雨にも降りましたが、暖かく過ごしやすい気候で、たいへん充実した五日間を過ごすことができました。

特に、長崎原爆資料館や大刀洗平和記念館での平和学習、ホテルニューオータニ博多でのテーブルマナーをはじめとする聖徳教育の実践において、生徒は多くを学び、成長を実感できたようです。宇都野ちひろさんの振り返りをご紹介します。

「特に印象に残ったものは、長崎原爆資料館を訪れたことです。小学生の時、家族で広



島の平和記念資料館を訪れましたが、そのとき受けた衝撃を今思い出ししました。人間はやはり忘れる生き物なのだと思ひ、不安になりました。しかし、当時の人々の写真や壊された建物の破片を見

「学び屋さん」の探究精神が引き継がれた卒業研究発表会

十二月七日(木)、三年生の「女性キャリア・卒業研究発表会」が縦割りのグループごとに行われ、三年生全員が一年間の集大成を披露、後輩たちか

て思いました。戦争をしてはいけない理由を、本当の意味で忘れることはないのではないかと。人々の顔や文章を、語一句が記憶から消えても人々が伝えたかったことが私から抜け落ちることはないのではないかと。なぜなら、戦争や平和は目を向ければ近くにあるから。

小学生の時ただただ圧倒されていたことに今回気づくことができました。この貴重な体験を無駄にしないよう、私も平和を創っていく側の人になりたいと思いました。

らも研究内容から進路決定に至るまで様々な質問が寄せられ、活況を呈していました。協働的に探究活動に取り組む授業「女性キャリア」も現三年生が十二期目で最終となり、新課程の二年生以降にも「聖徳プロジェクト」として受け継がれており、特に一年近く試行錯誤を体験する卒業研究においては、この発表会が、本校で「学び屋さん」と呼ぶ活動姿勢を先輩から学び取る貴重な機会となつていきます。

中でも、「全国的に増え続けている空き家を解決するためには」と題した聖徳大学の探究型内部入試において、同様の題材をプレゼンテーションし、その研究を一段と進めることで受賞に至りました。

混迷を深める社会や環境の諸課題に向き合う姿勢は、創立以来の聖徳教育を基盤に後輩たちへと引き継がれます。ますます進化していきます。

た若井さくらさんの研究は、隣家が空き家となった事実から行政の空き家対策を調べてその限界性を指摘し、空き家の増加を抑えるために持ち家の相続を促す様々な優遇制度を提案するという内容でした。十一月に聖徳大学で開催された「高校生の体験発表会」において最優秀となる聖徳大学長賞を受賞しました。今回はその前月に受験した聖徳大学の探究型内部入試において、同様の題材をプレゼンテーションし、その研究を一段と進めることで受賞に至りました。

附属小学校

読書感想文で高める国語力&道徳力

「最優秀校」を受賞

二十六年前から全校をあげて取り組んでいる「てのひら文庫賞」読書感想文全国コンクール。過去、本校が十年連続で受賞した「最優秀校」に、今回は連続三回目の受賞となりました。「最優秀校」は全国からただ一校が選ば

ばれる栄えある賞です。さらに、児童個人では、各学年から一人選ばれる「最優秀賞」の二名(一年 深山武臣君、五年 太田琉維君)をはじめ、計三十三名の児童が受賞しました。



三須吉隆校長、1年 深山武臣君、5年 太田琉維君、各学年の最優秀賞を受賞した児童たち。

そこで、最優秀賞に選ばれた太田琉維君に、話を伺いました。「灰谷健次郎さんの『だれもしらない』は、知的障害のある女の子が、四百メートルほどの通学路を、いろいろなことを考えながら歩いていく物語です。感想文を書くときに、まず主人公と自分の共通点を探しました。そこから共

感や疑問を見つけ出し、それについて考え、自分なりの答えを導き出しました。知的障害の子どもの理解が深まれば、頭のなかでいろいろ考えていることが分かりました。」

読書感想文を書くことは、本に描かれている出来事を、自分事として捉えて、自分だったらどうするかを考えられるよい機会です。それは、国語と道徳の教科横断的な取り組みといえます。本好きの子は、国語力が高い傾向があります。読書感想文を通して、道徳力もあわせて高められることでしょう。

多くの児童が重要人物として選んだのは、ニワトリ、太陽、母子像でした。理由は、いずれも作品の中心にあり、目立っているから。児童が考えたニワトリのセリフには「赤ちゃんが生まれたよ」、太陽では「新たな生命が誕生した」、母子像は「生まれてきてくれてありがとう」というものがありました。

児童の答えに、「世界の始まりだと思いました。なぜなら、太陽が地面から上がっていき、その日光で世界中の生き物に命を与えているように見えるからです」とありました。このような授業を通して、正解が一つではない課題に對しても、臆することなく挑戦できる子どもに育つことを目指しています。

多くの児童が重要人物として選んだのは、ニワトリ、太陽、母子像でした。理由は、いずれも作品の中心にあり、目立っているから。児童が考えたニワトリのセリフには「赤ちゃんが生まれたよ」、太陽では「新たな生命が誕生した」、母子像は「生まれてきてくれてありがとう」というものがありました。

壁画「生命の樹」の中で、どんな出来事が起きているのだろうか?

校舎の三階まである吹き抜けにある壁画「生命の樹」。初めて来校した方は、皆その迫力に驚きます。六年生「園工」の授業において、その「生命の樹」を取り上げました。

作品の中で「どんな出来事が起きているか?」を問う鑑賞方法は、「どこからそう思う? 学力をのばす美術鑑賞・ヴィジュアル・シンキング・ストラテジーズ」(フィリップ・

ヤノウイン)に詳しく紹介されています。日頃なげなく見ていた作品を、改めて「よく見る」ために有効な手段です。ただし、本授業では国語との横断的授業もねらい、壁画に描かれている登場人物の中から重要と思われる人物を選び出し、その視点から出来事を語るといった授業展開を取り入れました。



壁画「生命の樹」の中心にあり、目立っているから。児童が考えたニワトリのセリフには「赤ちゃんが生まれたよ」、太陽では「新たな生命が誕生した」、母子像は「生まれてきてくれてありがとう」というものがありました。

最初、道路では自転車や車、バイクが来るかもしれないので気を付けて歩くことや、よく見かける道路標識についての説明があり、「横断歩道の標識の近くに横断歩道があるのを見せてください」とお話ししていたと、元気に「はい!」と返事をすると子どもたちでした。



続いて、横断歩道の渡り方や飛び出しの危険など、交通ルールについてのDVDを観て学んだ後、警察の方から道路の歩き方や横断歩道の渡り方、信号機の見方についても教わり、実際に横断歩道の渡り方を学年毎順番に行いました。

満三歳児ひまわり組と三歳児桜組は信号機のある横断歩道の渡り方を行い、四歳児梅組と五歳児松組は信号機のない横断歩道の渡り方も一緒に行いました。信号機が青に変わってもすぐに渡らず左右を確認し、手を挙げて運転手の方に「渡ります!」のアピールをすることの大切さについても話を聞きました。園児たちは、信号機や左右を確認しながら「右見て左見て、もう一度右を見て」と、警察の方と確認しながら、手を挙げ真剣に渡っており、とても良い経験となりました。

幼稚園短信

聖徳大学三田幼稚園

「子どもアート展」遊びの世界を盛大に行いました

十二月九日(土)、本園において、子どもたちが入園進級してから日頃の生活の中で遊んださまざまな素材の絵画や製作物を展示した「子どもアート展」遊びの世界を盛大に行いました。

三歳児は、初めての集団生活の中で絵を描く「なぐり書き」から始まり、初めて絵の具を使って絵を描いたり、秋の遠足の経験で紙粘土とドングリを使って一人ひとりがイメージをした作品を作ったりしました。四歳児は、共同製作や遠足で印象に残った動物の絵を描き、封筒を使って作った

人形を展示しました。五歳児は、園庭で遊んでいる絵、運動会、イモほりの絵、車軸を使った自動車の個人製作、グループでダンボールを使って製作した動物を展示しました。

当日は、門を入れて最初に園庭に展示されている五歳児の共同製作の動物を見て、「わあーすごい!」「キリンの首が長いね」など、子どもだけでなく保護者も驚いていました。また、保護者のアンケートには「迫力満点の見ごたえがあるアート展」各学年工夫した展示方法や展示空間などアイデアに感動、「作品全体が表現を楽しんでいる」「成長を感じたアート展だった」などの感想が多く寄せられました。子どもたちは、絵の具で思い切り表現したり、空き箱や牛乳パックなどを持ち寄って、工夫しながら作ったりして遊んでいます。



「もう一つのクリスマス会」 げんき広場(園庭開放)

聖徳大学多摩幼稚園

本園では毎月二、三回、年間で二十回「げんき広場(園庭開放)」を行い、地域の未就園児に遊び場を開放しています。十二月のげんき広場は「クリスマス会」を行い、九名の未就園児が参加しました。まずはクリスマス帽子を作ることからスタートです。保護者が手伝いながら、目や髭、眉毛を帽子に貼ると、かわいいサンタ帽子のできあがり。早速かぶると、あまりのかわいらしさに保護者の方々は一斉に写真撮影を始めていました。次は子どもたちの大好きなキャラクターを題材にした太鼓づくりです。キャラクターの顔をのりで貼る時に、手にのりが付くのも嫌がらずにみんな楽しく貼っていました。太鼓が出来上



ると、子どもたちは早速トントんと鳴らしていました。手作り太鼓とで先生が弾くピアノのクリスマスソングに合わせて演奏会も行いました。

楽しい遊びはまだまだ続きます。先生たちが手作りしたそりに好きなおもちゃを乗せて、広い遊戯室を走り回ったり、クリスマスソングの話を聞いたたりしていると、「シャンシャンシャン」と鈴の音が聞こえてきました。どこから聞こえるのかなとみんなで耳をすませると、サンタさんの登場です。サンタさんは一人ひとりにプレゼントを持ってきてくれました。子どもたちは大喜び。かわいい帽子や太鼓、クリスマスプレゼントとたくさんのお土産を持ってうれしそうに帰って行きました。今後も子どもも保護者も、また遊びに来たいなと思えるような幼稚園を目指していきます。

お兄さん、お姉さんと一緒に「秋のテーマパーク」

聖徳大学附属幼稚園



十二月十五日(金)、五歳児松組が松戸市立相模台小学校へ遊びに行きました。この企画は小学一年生の生活科の授業の一環で、主体的、協働的な学びを深めるために「秋のテーマパーク」と題して本園の松組に招待状が届き叶ったものです。

幼稚園から小学校までは距離にしてわずか二百五十メートル。徒歩で向かう道のりは、集団での歩き方や横断歩道の渡り方など四カ月後に小学校に通う松組には良い機会となりました。

小学校の体育館に到着すると小学生が「こんにちは」と元気な挨拶で迎えてくれました。司会進行を務めました。司会進行を務めました。「かがをしないで安全に」「売り物の」おもちゃは大切に」と三つの約束を伝えてくれました。

小学生はお店屋さんとお客さんの二グループに分かれ準備をします。お兄さん、お姉さんが園児と手をつなぎ、体育館中に広がる店へ案内してくれました。アケサリー屋、けん玉屋、迷路屋など小学生が自分たちで考えた店は二十五種類。店へ行って遊んだら「ありがとう



うカード」にスタンプを押してもらいます。頼もしい小学生と優しく声を掛けられうれしそうな園児たち。最後に「ドングリこま」のプレゼントもいただき、お礼を伝え小学校を後にしました。個々に回ったお店屋さん様々でしたが、幼稚園に戻ってからも首に掛けた「ありがとうカード」をみんなで見せ合い話が弾んでいました。相模台小学校との初めての交流は新鮮で、互いに学びの多い楽しい経験となりました。来年四月、園児たちのピカピカの一年生の姿が待ち遠しいです。

満三歳児クラス パンダ組のお掃除

聖徳大学附属第二幼稚園

満三歳児パンダ組は、幼稚園で一番小さな学年です。入園したばかりの頃は、玄関で自分の靴を脱ぐこともままならず、排泄の自立もできていないため、クラスの半数以上がオムツを着用していたクラスです。

そのパンダ組が二学期、日々の保育や運動会や遠足等行事を通し、友達と一緒に活動することを楽しみ、並んだり、話を聞いたり、自分で準備をしたりするなど、それぞれが自分でやるうとする力が身につきました。十二月になり、いつも遊



んでいる保育室の大掃除をすることにしました。何もできなかったパンダ組の園児が、一人ひとり雑巾を持ち、床を磨いたり、壁を拭いたり、掃除というよりは遊びとなって楽しんでいく様子でしたが、そこには大きく成長したパンダ組の笑顔がありました。教員が

通じ合う喜びを育む 保育を目指して

聖徳大学附属成田幼稚園

聖徳大学グループには七つの幼稚園があります。二年度に担当園が、保育の研究を行ない、公開保育や研究の成果を発表をしています。

今年度は、本園が担当園となり、「遊びや生活の中から通じ合う喜びを育む指導」を感じたり、考えたことを自分なりに表現する力が豊かになる幼児を育む」というテーマで、二年間に渡り研究してきたことを十一月二十五日(土)に公開保育と研究協議会で発表しました。

「通じ合う喜びを育む保育」を目指して、まず自分たちの保育を振り返りながら、



園児の声に耳を傾け研究を進めました。園児たちが様々な経験を通して、自分が感じたことや考えたこと

ママサンタが やってきた!

聖徳大学附属浦安幼稚園

本園父母の会の、「コーラス部」も今年度は部員も増え、OGの部員も含め約三十名となりました。十二月十三日(水)、サブライズでコーラス部による「クリスマスコンサート」を行いました。回を重ねるごとに皆様方のサンタやトナカイのコスチュームが豪華になり、より一層盛り上がりました。

コロナも落ち着き、週一回の練習も感染対策を継続しながら短い練習時間でも園児たちが楽しいクリスマスのお楽しみを味わえるよう工夫していました。コンサートは「ジングルベル」から始まり、「あわてん



ぼうのサンタクロース」など園児たちもフォークダンスで踊り知っている曲だったので自然と口ずさんだり、手拍子をしたり「ハイ」と元気に掛け声をして楽しんでいました。園児たちの大好きな曲「さんぽ」となるのトトロ」にじのむこうに」ではうれしそうに笑顔で曲に合わせて身体を楽しく動かしていました。「うさぎ野原のクリスマス」の曲は、特に五歳児松組の園児たちが好きで歌っている曲だったので、前奏を聞いただけで「あーうさぎ野原のクリスマス」だとすぐに分かり、大きな声で得意気にうれしそうに口ずさんでいました。楽しい時間はあっという間でしたが、ママサンタからのステキな歌のプレゼントに一人ひとりが笑顔で楽しい思い出となったクリスマスコンサートになりました。「ありがとう、ママサンタさん！」

を自分なりに表現をしながら言葉の獲得につながるように、遊びや活動・環境の構成や教師の在り方について見直しました。当日の公開保育では、ごっこ遊び、自己紹介、家族の紹介、起承結の創作話の発表などを行ないながら、他園の教員や大学・専門学校の教員も園児たちとかかわりました。その後、本園の取り組みについて、多くの意見を伺いました。今後も聖徳大学の附属幼稚園である強みを生かし、姉妹園の研究保育での取り組みを保育に取り入れられたり、大学の先生方から専門的な指導も取り入れられたりしながら、本園の教育目標である「いつもにこにこ元気な子ども」の育成に取り組みまいります。

令和6年度 大学院(春学期入学) 入試日程【通学課程】

聖徳大学大学院通学課程[共学/昼・夜開講] 博士後期課程(一般入試、社会人入試、研究生入試) 児童学研究科、臨床心理学研究科、言語文化研究科、人間栄養学研究科、音楽文化研究科

Table with columns: 日程区分, 願書受付期間, 入試日. Includes C日程 and exam dates.

※臨床心理学研究科はC日程を実施しません。

博士前期課程(一般入試、社会人特別入試、私費留学生特別入試、研究生入試) 児童学研究科、臨床心理学研究科、言語文化研究科、人間栄養学研究科、音楽文化研究科

Table with columns: 日程区分, 願書受付期間, 入試日. Includes C日程 and exam dates.

※臨床心理学研究科はC日程を実施しません。

専門職学位課程(一般入試、社会人特別入試、現職教員特別入試) 教職研究科

Table with columns: 日程区分, 願書受付期間, 入試日. Includes C日程 and exam dates.

令和6年度 大学院(春学期入学) 入試日程【通信教育課程】

聖徳大学大学院児童学研究科通信教育課程 博士前期課程

Table with columns: 区分, 出願期間, 入試日. Includes 春学期入学A日程 and B日程.

博士後期課程

Table with columns: 区分, 出願期間, 入試日. Includes 春学期入学.

令和6年度 入試日程【通学課程】

聖徳大学(女子)/聖徳大学短期大学部(女子) 【総合型選抜】大学型、短大型

Table with columns: 入試区分, 出願期間, 入試日. Includes E日程 and exam dates.

※看護学部は実施しません。

【一般選抜】

Table with columns: 入試区分, 願書受付期間, 入試日. Includes B日程 and C日程.

【大学入学共通テスト利用選抜】

Table with columns: 入試区分, 願書受付期間, 入試日. Includes B日程 and C日程.

※看護学部の「面接」、音楽学部の「音楽実技等」「面接」(プロアーティストメジャーのみ)、教育学部教育学科スポーツ教育コースの「スポーツ実技」は上記の入試日に聖徳大学キャンパスで行います。

【実技特別選抜】 音楽学部

Table with columns: 入試区分, 願書受付期間, 入試日. Includes 実技特別選抜.

【留学生入試・帰国子女入試・社会人入試】

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Includes 私費留学生特別入試 etc.

※看護学部は社会人特別入試A日程のみ実施します。

【編入学・専攻科入試】

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Includes 一般入試 etc.

令和6年度 附属学校 入試日程

聖徳大学幼児教育専門学校(女子)【AO入試(総合型選抜)】

Table with columns: 入試区分, 日程, エントリー受付期間, 面談日. Includes AO入試.

【指定校推薦入試・社会人特別入試】

Table with columns: 入試区分, 日程, エントリー受付期間, 面談日. Includes 指定校推薦入試 etc.

【一般入試(一般選抜)】

Table with columns: 入試区分, 日程, エントリー受付期間, 面談日. Includes 一般入試.

光英 VERITAS 中学校・高等学校(共学)

Table with columns: 対象, 入試区分, 願書受付期間, 入試日. Includes 中学校 第3回入試.

★詳細は、各校の募集要項でご確認ください。

通信教育部(共学) 令和6年度 春学期生募集

お問い合わせ 047-365-1200 (直通)

聖徳大学大学院 通信教育課程

●児童学研究科 児童学専攻 [博士前期課程/博士後期課程]

聖徳大学 通信教育部

聖徳大学短期大学部 通信教育部

聖徳大学・短期大学部で 取得可能な免許・資格

- 大学・短大卒業資格, 幼稚園 小学校 中学校(英語・国語・社会) 高等学校(英語・国語・地歴・書道・福祉) 養護教諭, 公認心理師(大学) 認定心理士 准学校心理士 心理相談員(基礎資格) 児童福祉司※要実務1年 児童指導員 心理判定員・児童心理司 保育士 社会福祉士(受験資格) 精神保健福祉士(受験資格) 図書館司書 学芸員 社会福祉士事

通信教育部では、令和6年度春学期生の募集を開始しています。ぜひこの機会に、働きながら免許や資格が取得できる通信教育にチャレンジしてみませんか。

オンライン(ZOOM)による入学説明会と個別相談を実施しています。各回事前予約制となります。詳細はホームページ「入学説明会」ページでご確認ください。

聖徳大学主催入学説明会・個別相談(オンライン)予約制

※インターネットにつながるPC・タブレット・スマートフォンをご用意ください(インターネット通信料はご本人様ご負担となります)

●オンライン入学説明会(予約制) ※WebアプリZoomにて配信いたします。

【入学説明会】開催日▶2月4日(日)・3月3日(日)・3月31日(日) 開催時間▶各日 13:00~14:00 【公認心理師入学説明会】開催日▶2月23日(金・祝)・3月17日(日) 開催時間▶各日 11:00~12:10

●オンライン入学個別相談(予約制) ※WebアプリZoomを使用したオンライン個別相談となります。

【昼間の部】開催時間▶各日 10:00~15:00 開催日▶2月3日(土)・3月2日(土)・3月10日(日)・3月16日(土)・3月23日(土)・3月30日(土)・4月6日(土) 【夜間の部】開催時間▶各日 18:00~19:00 開催日▶2月7日(水)・2月14日(水)・3月13日(水)・4月3日(水)・4月10日(水)

※予約は30分ごとになります。ご希望の日時を選択してご予約ください。

春学期生願書受付期間

▶大学・短大 ~4月26日(金)【必着】※書類選考のみ

・A日程(博士前期課程・博士後期課程)

~2月5日(月)【必着】※試験:2月11日(日・祝)

▶大学院

・B日程(博士前期課程)

2月13日(火)~2月26日(月)【必着】※試験:3月3日(日)

通信教育部HPより予約受付中

30日前から当日開始時間までにご予約ください。

通信教育部HPより予約受付中

30日前から当日2日目の23:59までにご予約ください。 定員に達した場合、予約受付終了となります。

学校説明会関係行事のご案内

※3月までの予定です。詳細及び3月以降の予定につきましては、各校にお問い合わせください。

聖徳大学(女子)・聖徳大学短期大学部(女子) ●お問い合わせ:0120-66-5531(直通)

オープンキャンパス 大学・短期大学開催 ▶2月18日[日] 10:30~12:30 ▶3月24日[日] 10:30~13:00

聖徳大学幼児教育専門学校(女子) ●お問い合わせ:03-5476-8811(代)

放課後個別相談会 ▶2月1日[木] 17:00~19:00 ▶2月29日[木] 17:00~19:00

学校説明会 ▶2月17日[土] 10:00~11:30 ▶3月9日[土] 10:00~11:30

光英 VERITAS 中学校・高等学校(共学) ●お問い合わせ:0800-800-8442(入試広報室直通)

学校説明会 中学校 ▶2月17日[土] 9:30~11:30 ▶3月9日[土] 9:30~11:30 ※小学校4・5年生対象学校説明会

聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校 ●お問い合わせ:0297-83-8111(代)

○中学1・2年生対象 学校説明会 ▶2月17日[土] 9:30~11:30 ▶3月9日[土] 9:30~11:30

○音楽レッスン・シリーズ(無料レッスン) ▶2月24日[土]

信州佐久 春日温泉 自然体感リゾート

かすがの森 休館のお知らせ

いつもかすがの森をご利用いただきありがとうございます。誠に勝手ではございますが、下記の期間を休業とさせていただきます。お客様にはご不便とご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。

休業期間:2023年12月15日(金)~2024年3月15日(金)

お問い合わせ先 電話:0267-52-2111

読者の声

ご意見・ご感想の宛先

学園広報誌聖徳フラッシュをお読みいただき、ありがとうございます。今後も内容の充実と努めてまいりますので、ぜひ皆さまのご意見・ご感想をお寄せください。

(郵送) 〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550 東京聖徳学園「聖徳フラッシュ」係まで (インターネット) https://www.seitoku-u.ac.jp/inquiry/

学校法人 東京聖徳学園

聖徳フラッシュ 第130号 発行人/川並弘純 編集/総務課

〒108-0073 東京都港区三田3-4-28 TEL.03-5476-8811(代)

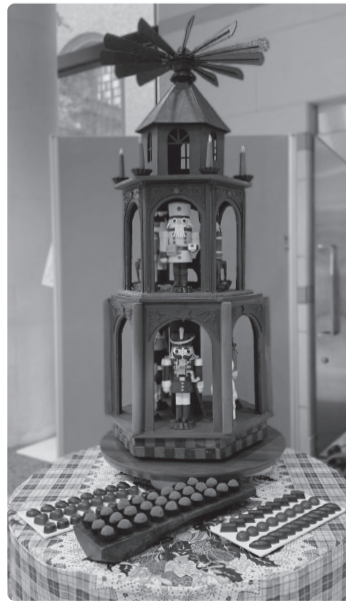
24.2.1 ret (9.45)

聖徳大学短期大学部 総合文化学科

2023

冬のチョコレートディスプレイが登場!

12月中旬、大学8号館のロビーに今年もチョコレートディスプレイが登場しました。これは、短大・総合文化学科フードマネジメントコース(製菓)1年生の4名が「お菓子のアートI・II」の授業において制作したものです。ドイツのエルツ山地を発祥とするクリスマスピラミッドをモチーフとしており、クリスマスツリーの原型とされています。ピラミッドの先端にあるプロペラと枠、中にいる人形たちに至るすべてをチョコレートでできています。その量はなんと20キロ。ロビーいっぱいにはチョコレートの甘い香りが漂い、訪れる方の注目の的となりました。



セイトクの派遣会社だから安心

派遣登録募集中!! 幼稚園教諭、保育士、一般事務 お気軽にご連絡ください

セイワコーポレーション 東京都港区虎ノ門1-1-20

0120-525-126 般 13-300726 13-ユ-300913